

ガリヴァー、エドで皇帝に謁見す。



フランス語版『ガリヴァー旅行記』(1838年)の扉絵

奇妙な世界を旅する物語といえば、『不思議の国のアリス』もその一つですが、アリス嬢に負けず劣らず奇想天外な旅をした人物がいます。

皆様もよくご存じ、『ガリヴァー旅行記』のレミュエル・ガリヴァー氏です。

小人国リリパット、大人国プロブディンナグ、空を飛ぶ島ラピュタ、そして馬の国フウイヌムと、四度に渡る航海(というより漂流?)を経

験した英国人ガリヴァー氏ですが、その航海記には、日本も登場しているのです。

三度目の航海で、二隻の海賊船に捕らわれてしまったガリヴァー氏。うち一隻の船長は日本人。オランダ語はあまり上手ではなかったようですが、他の海賊からガリヴァー達の命を守り、食糧を確保してくれる頼もしい存在(海賊ですけど)として描かれています。

また、その後の旅で訪れたラグナグ国で、望郷の念にかられたガリヴァー氏。母国への直通便が無いため、オランダ経由で帰国するのですが、そのための出発地はなんと日本!

1709年、我らがガリヴァー氏は日本南東部にある小さな港町「ザモスキ」(房総半島の下総だという説があります)に上陸します。そこから「エド」へ向かい、皇帝(江戸なので、天子様ではなく将軍、時代的には徳川家宣でしょうか。)に謁見。日本国皇帝の計らいで、踏み絵を免除してもらい、「ナンガサク」から首尾よくオランダ船に乗り込むのです。

痛烈な皮肉を得意とした作者スウィフトですが、日本の描写は概ね好意的。日本人としては一安心、といったところでしょうか…。

奇書『ランゲルハンス島航海記』

「地誌学の分野にあって、完璧さからいっても内容上の価値からいっても、この種の仕事ではドイツ随一ともいえる精緻にして信頼に値する著作をここに提供するものである。」

『ランゲルハンス島航海記』は、こんな前書きから始まります。

作者は、ノイロニムス・ノドゥルス・フリーゼル。「発行者のまえがき」には、英国南部の古本店街で、古風な18世紀ドイツ語で書かれたこの奇書を偶然発見した経緯が記されています。この書には、ランゲルハンス諸島に赴いた調査船、帝国軍艦ゼンドー号の苦難に満ちた航海と、我々の常識を凌駕する、各島の驚くべき政治や文化などが、克明に記されている…ことになっているのですが…。その奇想天外な航海の様子は、是非ご一読を!

さて、医学を学んでいる方なら、既にタイトルでにやりとされるのでは?ランゲルハンス島、別名「臍島」。その名の通り、動物の体内で、臍臓を構成する歴とした細胞塊です。臍臓は、その大半を外分泌腺が占め、その中に内分泌細胞の塊が島のように浮かんでいますが、それこそが「島」と呼ばれる所以なのです。

「ランゲルハンス島」という言葉の妙、そして奇書『ランゲルハンス島航海記』が、心の琴線に触れるのでしょうか。『ランゲルハンス島の午後』(村上春樹氏と安西水丸氏共著のエッセイ集)、「ランゲルハンス島沖を漂流中」(ハーラン・エリスン著 『世界SF大賞傑作8』に収録)などの著作も生まれています。

ランゲルハンス島は、ホルモンを分泌するだけではなく、「様々な作家の創作意欲を刺激する」という働きもあるようです。

青森県立図書館 参考郷土室

〒030-0184

青森市荒川字藤戸 119-7

電話: 017-729-4311

FAX: 017-762-1757

<http://www.plib.pref.aomori.lg.jp>

架空旅行代理店 ΝΕΚΟΝΟΤΕ

～ 不思議な国への旅、よろず承ります～



1700年頃発行された日本地図に描かれた、ウィリアム・アダムスが将軍に謁見している様子を描いた部分。三浦按針の時代といえば、将軍は徳川家康の頃。とすると、まさか中央のアラビアンナイトの王様のような方は…。随分とオリエンタルな江戸幕府の描かれように、大御所様も吃驚でしょう。

青森県立図書館 参考郷土室

2014改定

奇妙な世界に旅立つ前に ～旅の途中で必要になるかもしれない未知の世界のあれやこれ～

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
グリフィンとお茶を ファンタジーに見る動物たち	荻原規子/著 中川千尋/挿絵	徳間書店	2012	902.3 オキワラ*ノ	10214323374
架空世界の悪党図鑑	光クラブ/著	講談社	2004	902.3 カクセカイ	10213339206
「中つ国」歴史地図 トールキン世界のすべて	カレン・ウィン・フォNSTADT/著	評論社	2002	大型930.278 トールキン*ジ	10212737555

いざ、奇妙な世界への旅へ ～其之吉 現実と幻想が隣り合わせの不思議な異界へ～

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
猫町	萩原朔太郎/著 金井田英津子/画	長崎出版	2012	913.6 ハキワラ*サ	10214437668
他界へ翔る船 「黄泉の国」の考古学	辰巳和弘/著	新泉社	2011	210.32 タツミ*カ	10214231067
『遠野物語』へのご招待 『遠野物語』誕生から一〇〇年 異界の物語世界への誘い	石井正己/著	三弥井書店	2010	382.122 イシイ*マ	10214129334
日本全国神話伝説の旅	吉元昭治/著	勉誠出版	2009	388.1 ヨシト*シ	10213886459
伝説の風景を旅して	海野弘/著	グラフ社	2008	388.1 ウノ*ヒ	10213805155
水木しげると行く妖怪極楽探検隊	荒俣宏/著	角川書店	2004	388 アラマ*ヒ	10213188820
不思議の旅ガイド 日本幻想紀行	多田克己/著 村上健司/著	人類文化社	2002	291.093 タダ*カ	10212764960
高丘親王航海記	澁澤龍彦/著	文芸春秋	1987	913.6 シバ*サウ*タ	10201089095

いざ、奇妙な世界への旅へ ～其之式 君よ知るや不可思議の国～

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
クトゥルー神話全書	リン・カーター/著	東京創元社	2011	930.278 リン*カワ*ハ	10214193405
闇の国々	ブノワ・ペーターズ/作 フランソワ・スクイテン/画	小学館集英社プロダクション	2011	726.1 スクイテン*フ	10214345848
アライバル	ショーン・タン/著	河出書房新社	2011	大型726.6 タン*シ	10214205726
銀河鉄道の夜	宮沢賢治/原作 清川あさみ/絵	リトルモア	2009	726.6 ミヤザキ*ア	10214062761
最後のユニコーン 完全版	ピーター・S. ビーグル/著	学習研究社	2009	933.7 ビーグル*ヒ	10213999848
地下の国のアリス	ルイス・キャロル/著	新書館	2005	933.6 キャロル*ル	10213351235
オデュッセウスの冒険 ギリシア神話の物語 下	ローズマリ・サトクリフ/著	原書房	2001	933.7 サトクリフ*ロ (5)	10212699104
クラウド・コレクター 雲をつかむような話	クラフト・エヴィング商会/著	筑摩書房	1998	914.6 クラウト*ウ	10212234666
はてしない物語 エンデ全集 4, 5	ミヒャエル・エンデ/著	岩波書店	1997	948 インデ*ミ (4) 948 インデ*ミ (5)	10212988949 10212989953
空想旅行の修辞学 「ガリヴァー旅行記」論	四方田犬彦/著	七月堂	1996	930.28 ヨシタ*イ	10210943043
ランゲルハンス島航海記	ノイロニムス・N・フリーゼ/著	博品社	1992	944 フリーゼ*ル*ノ	10210380734

※紹介している本は、多くの資料の一部です。お探しの資料が見つからない場合には、職員にお尋ねください。